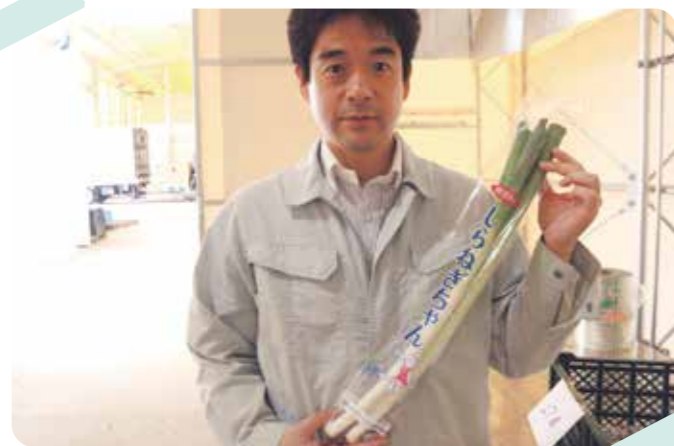




白岡で頑張る 農業生産法人



アルファインバージョン株式会社

【会社プロフィール】

住 所：白岡市下大崎 1274-1
電 話：0480 (53) 6544
設 立：平成 23 年 12 月 翌年に農業へ参入
従業員：60 名（山田浩太代表取締役、社員 14 名、パート 5 名 農福連携で「めぐみの里」から社員 8 名と障がい者 45 名が働いている）

生産している作物

生産している作物は、ネギ。白い部分を具材として使用する「白ネギ」と薬味に使用する「青ネギ」「九条ネギ」「小ネギ」の 4 種類。ネギは、年間を通して収穫できるため、安定した供給により、取引先との信頼関係を築いています。



現在は、1 週間に白ネギ 5.5 トン、青ネギ 6 トンを収穫しています。収穫したネギは、全国 40 ～ 50 社の売りに出荷し、コンビニエンスストアの各種種類の薬味として使われるだけでなく、スーパーマーケットなど皆さんの身近なところで流通しています。



新しい取組み

設立当初は、ネギのみの生産を行っていましたが、昨年からは、梨の生産も始めました。今年は昨年より、約 18,000 玉多い、約 25,000 玉の梨を出荷する予定です。特に埼玉ブランドの「彩玉」の生産に力を入れていきたいと考えています。



▲梨の苗木

先進技術を活用した生産

ロボット技術や情報通信技術を活用するスマート農業を導入し、梨畑の草刈りはロボットが行っています。いずれはドローンを活用し、授粉作業を行い、作業の負担を減らしながら、梨の生産規模を拡大していく予定です。



▲V字ジョイント栽培

また、「V 字ジョイント栽培」という栽培方法を採用しています。苗木と苗木を接ぎ木の技術で接続し、名前のおり V 字状に枝を伸ばし栽培することで、腕を持ち上げたり、かがんだりする作業が減るメリットがあります。

これからの展望

今年は初めて梨の直売も行いました。来年以降も梨の直売や、梨を使用した加工品の販売を考えているので、楽しみにしていただきたいです。



▲山田浩太 代表取締役



株式会社 彩り

【会社プロフィール】

住 所：白岡市上野田 482-2
電 話：0480 (92) 0507
設 立：平成 30 年 11 月 梨農家に嫁いで 30 年以上農業に携わった、細田さん（写真右）の「女性の力だけで農業はできないだろうか。」という思いから設立
従業員：4 名（細田公子代表取締役と女性従業員）

生産している作物

生産している作物は、「梨」「ミニトマト」「アスパラガス」「カリフローレ（イタリア野菜）」の 4 種類。特に力を入れているのはミニトマトで、糖度が高く、フルーツ感覚で食べられる「アイコ」を栽培しています。種の周りのゼリー部分を美味しくするために、授粉作業は人の手ではなく、蜂を活用して行うなど、こだわっています。11 月～ 6 月頃に直売、しらおか味彩センター、菖蒲グリーンセンター、大手スーパーなどで販売をしています。



▲ 8 月に栽培しているアスパラガス

手探りからの出発

設立時は、経験のないミニトマトの栽培を手探りで始めました。ビニールハウスでの栽培は、温度や湿度の管理が難しく、手間暇掛けて育てたトマトがダメになってしまうこともありま。多くのかたにアドバイスをいただきながら、味、品質ともに年々進化をし、「とても美味しい」「子どもが彩りのミニトマトしか食べない」という嬉しい言葉もいただけるようになりました。



生産者としてのプライド

「おいしい・安心安全・お客様の笑顔がみたい」をモットーに、自分たちで食べて納得できるものだけを販売し、自社の商品にプライドを持って生産しています。赤いトマトの中に黄色のトマトを混ぜたり、葉物野菜をセットにしたり、会社名のおり「彩り」にこだわって、お客様が手に取りやすい商品を女性ならではの視点で販売しています。



これからの展望

観光農園ではなく、収穫体験もでき、多くのかたが楽しめ、誰でも気軽に立ち寄れる憩いの場を目指しています。また、小さなお子さんがいる農業未経験のかたでも働けるような場所にしていきたいです。



▲加藤富美子 さん



▲細田公子 代表取締役



株式会社 榎本フルーツファーム

【会社プロフィール】

住所：白岡市岡泉 1050
 電話：0480 (92) 2796
 設立：令和4年7月
 「榎本梨園」から改名し法人化
 従業員：9名（榎本 孝 代表取締役と役員の奥さん、社員1名と常時雇用のパート6名）

生産している果樹

生産している果樹は、「梨」「キウイ」「ブドウ」の3種類。経営面積は約200aで、市内の果樹園では最大級です。販売は直売のみで、予約でほぼ完売してしまいます。



▲みずみずしい梨



▲白岡産シャインマスカット

3種類の中でも、1番の人気は梨です。栽培は75年近く行っており、土の作り方からこだわっています。大きくて形の良い果実にするため、適期作業を手を抜かず、スタッフ一同で頑張っています。

良質な梨を届けるために

梨は早朝に収穫し、選別や箱詰めは手袋をして行き、その日のうちに発送を完了させています。スピード感と丁寧さをたいせつにし、新鮮で良質な梨をお客様にお届けしています。



新しい取り組み

平成29年からはキウイの栽培を開始しました。梨の生産で培った高度な栽培技術を活かして、高品質なキウイを生産しています。



キウイは、白岡市のふるさと納税の返礼品にも選ばれており、お歳暮のギフトとしても大変人気の商品です。11月上旬から販売を開始します。

これからの展望

1年中果樹を販売できるよう、栽培園地や樹種を増やしていき、経営発展をすることで「農業に元気を！」与えていきたいです。そして、次世代の若者たちに農業は誇りある仕事であることを証明していきたいです。



▲榎本 孝 代表取締役



株式会社 関田農園

【会社プロフィール】

住所：白岡市上野田 1387-1
 電話：0480 (44) 8564
 設立：平成26年10月
 長ネギに特化した農業法人
 従業員：50～70名（関田 淳 市代表取締役と社員5名、パート・アルバイト45～65名）

生産している作物

生産している作物は主に「ネギ」で、他にも「とうもろこし」「おくら」「サツマイモ」を栽培しています。収穫したネギのほとんどは、商社を通じて、



首都圏や関西、北海道など幅広いエリアのスーパーマーケットへ出荷しています。また、会社の前に無人販売コーナーを設置しています。



▲無人販売コーナー

新しい取り組み

宅配ボックスの普及に伴い、ボックスに入るような短いネギを試験的に栽培するなど、時代に合わせた商品開発に取り組んでいます。



食べる人、環境を考えた栽培

人間の身体は食べたものでできています。化学肥料を最低限に抑え、窒素換算で9割の有機肥料での栽培を行っています。また、ネギは暑さに弱いため、中心部に痛みがないか専用のライトで照らし、手作業で仕分けを行い、安心して食べてもらえるようこだわっています。さらに、本来であればゴミになってしまう大量のネギの皮も肥料として再利用し、循環した栽培を心掛けています。



▲手作業で行う皮むきなど

これからの展望

令和元年10月1日にゲノム編集食品（品種改良で作られた農畜水産物）が解禁されましたが、ゲノム編集食品であることの表示の義務化はされていません。微力ですが、日本の食文化と命を守る農業を目指しながら、ネギの生産を極めていきます。



▲関田 淳 市代表取締役